

増田かおる



議会レポート Vol.38

2025年2月6日 発行人 増田薫

<http://www.masuda-kaoru.net/> ⇒

matsudoshi.masuda.kaoru@gmail.com

〒271-0096 松戸市下矢切 89-4 Tel 047-361-2103



1月1日、能登半島地震から1年が経ちました。大幅に遅れている復旧作業の上に、昨年9月の大水害、たび重なる災害に心が痛みます。また、線上降雪帯とも言うべき記録的な大雪は、都会に住む私たちのエネルギー浪費し放題の生活が引き起こす気候変動の影響では…？松戸市の地球温暖化対策をもっと具体的に進めるべきです。

1 2月議会の一一般質問より



小規模校にイエナプラン教育を！

Q：10年先を見据え、イエナプラン教育（※）のような、少人数・多学年で学ぶ、子ども主体の学びが実現できる学校作りを、本市の小規模校で検討できないでしょうか。

A：学びの松戸モデルに基づいた教育施策、「主体的・対話的で深い学び」「多様な教育ニーズへの対応」（学習指導要領及び第4期教育振興基本計画）に基づき、「教える授業」から「気づかせる授業」への転換、特に子どもたちに必要不可欠な力とされている「探究する力」と「批判的思考力」を身に付ける授業改善を促進しています。また、本市でも異学年集団での縦割り活動が盛んに行われ、小規模校同士が連携し、校外学習や学校行事を合同で実施するなど、多様な学びが展開されております。

※イエナプラン教育とは、ドイツで始まり、オランダで広がった、一人ひとりを尊重しながら自律と共生を学ぶ教育です。教室の壁、時間割の壁を取り払い、学年を超え、個々の子どもが自分の学習プログラムに従って学習していきます。

ウラ面に詳細記事→→→



増田かおるからのひとこと

「学校がつまらない」という子どもが増えていると言われます。しかし学校現場では授業が工夫され、先生方も一生懸命にやっているのに一体どうしてなのでしょう？私は一つのキーワードが「子どもの自治意識を作り出すこと（自分のことは自分たちで決めること）」だと思います。日本が「子どもの権利条約」に批准して30年が過ぎましたが、4つの権利のうちの一つ「意見表明権」がこれに近いと思います。

イエナプラン教育では、児童生徒自身が自分の教育計画を作り、学校行事も児童生徒が企画・運営しますが、子ども自身が決めたことに責任を持って取り組みます。それは、子どもたちの自律を促します。また、学校の中に逃げ込める場所、1人になったり寝転んだりできる場所を設けるのも有効です。



イエナプランの実践は一つの可能性ですが、100年以上変わらない学校システムを時代に合わせ、新しい取り組みを模索していく必要があるのではないのでしょうか。第二の「常石とともに学園」を松戸に創れたら素晴らしいですね。今後もこれからの学校のあり方を求めていきます。

●●学習指導課 366-7458●●

疑問だらけの「新松戸駅東側地区 土地区画整理事業の仮換地指定」 少数の住民を無視して強引に進める？ 市長は何も答えず

私の一般質問の様子が新聞に取り上げられました。本来は市が市民説明を行うべきですが、新聞報道によりこの事業を知った市民も多かったのではないのでしょうか。



Q：仮換地指定とは、土地区画整理事業の配置図を確定する、非常に重い決定です。事情を抱えた一部の住民が、先行きを決めかねている中、強引に仮換地指定を行うのですか？市長、責任を持って教えてください。

A：（まちづくり部長が答弁）土地区画整理審議会から仮換地指定に関する諮問の答申をいただき、12月中に仮換地が指定される予定で、合意形成に努めていきます。

増田かおるからのひとこと

多額の税金を使うのに、市民への説明はなく、説明するつもりもない。また、事業内容は不透明で、妥当性を判断できない中で進められてきました。土地区画整理事業とは、そこに住む住民や土地所有者が、それぞれの土地を提供して、道路が狭い等の地域課題を解決したり、便利に、住みやすくするための事業です。住民が出ていかなければならないような、新松戸駅東側地区の土地区画整理事業に、果たして「公共性」はあるのか？甚だ疑問です。行政がデベロッパー化している？！市民の権利を尊重するよう求め続けていきます。

●●区画整理課 382-5808●●

